

2026 年 8 月 14 日

GPR、2027 年からの全日本カート選手権、シリーズ所轄団体に決定！

～「GPR KARTING SERIES」の知見を活かし、国内最高峰カート競技の再構築と価値向上へ～

GPR を運営する有限会社ユナイテッド(本社:愛知県名古屋市、代表取締役:松浦佑亮)は、一般社団法人日本自動車連盟(以下「JAF」)より、2027 年から 2029 年までの 3 年間にわたり、「全日本カート選手権」および「ジュニアカート選手権」のシリーズ所轄団体として選定されましたことをお知らせいたします。

これに伴い、GPR が 2023 年より企画・運営を行ってまいりました「GPR KARTING SERIES」は、2026 年シーズンをもって終了いたします。これまで本シリーズにご参加・ご協力いただいたエントラント、ドライバー、関係者、そしてファンの皆様の温かいご支援に心より深く感謝申し上げます。

2027 年シーズンからの新体制におきましては、国内最高峰のカート競技である全日本カート選手権およびジュニアカート選手権を牽引し、「誰もが憧れ、選ばれた才能だけが集う華やかな舞台」という新たなシリーズコンセプトを掲げます。これまでの運営ノウハウを結集し、競技価値の再構築とブランド力の強化を強力に推進してまいります。



■カテゴリー編成／クラス構成の再構築

参加者の年齢・経験・ステップアップルートを明確化した 4 クラス制を導入します。

PRO

[OK・全日本選手権]

<PRO クラス> 全日本カート選手権 OK 部門

マテリアル: FIA 公認 OK エンジン - VEGA XH4 / W6

出場資格: 14 歳～ 国際 E/F 国内 A

SENIOR

[FS-125・全日本選手権]

<SENIOR クラス> 全日本カート選手権 FS-125 部門

マテリアル: ROTAX 125 MAX EVO - MOJO D5 / W5

出場資格: 14 歳～ 国際 E/F 国内 A

JUNIOR

[FS-125 Jr・ジュニア選手権]

<JUNIOR クラス> ジュニアカート選手権 FS-125Jr 部門

マテリアル: ROTAX 125 Junior MAX EVO - MOJO D2 / W5

出場資格: 11 歳～14 歳 国際 G ジュニア国内

MINI

[FS-MINI・ジュニア選手権]

<MINI クラス> ジュニアカート選手権 FS-MINI 部門

マテリアル: VORTEX mini ROK - VEGA M1 / W6

出場資格: 8 歳～12 歳 国際 G ジュニア国内

※デリバリー&シャッフル方式を採用

■大会フォーマットの刷新

2027年より、1大会2レース制(土曜1レース/日曜1レース)を基本フォーマットとして運営します。参加台数により予選ヒートを複数グループで行うなど最適なレース形式を行うことにより、多くのヒートを創出し選手育成に寄与します。

■運営体制の強化

GPRは以下の企業と連携し、世界基準の運営体制を構築します。

<株式会社栄光>

レース運営力の強化、ジュニアクラスの全国統一、ローカルから選手権への挑戦ルート整備、海外選手誘致の活性化、そしてローカルレースとの規則・ジャッジメント共通化を一体的に推進。

<株式会社日本レースプロモーション>

カートレースの認知拡大、四輪業界との連携強化、そしてメディアプロモーションの強化を一体的に推進。

事務局の一元化はもちろん、レースディレクター/テクニカルディレクターの統一派遣を中心に、GPRがこれまで築いてきた“統一性のある運営スタイル”も継続して実施します。

■PROクラスのプロモーション強化

最高峰カテゴリーであるPRO(OK)クラスについては選手にフィーチャーしたプロモーションを実施します。

- ・SUPER FORMULA 会場でのPR(選手をカート時代からの応援に繋げる)
- ・プロモーション映像の制作・配信
- ・各種メディアへの露出拡大 など

■参加者の皆さまへ

正式なクラス編成、レギュレーション、年間スケジュール、エントリー開始時期などの詳細は、現在JAFと最終調整を進めており、決定次第速やかにご案内いたします。

GPRは、これまでのシリーズ運営で培った経験と、国内外のパートナーとの連携を活かし、参加者の皆様がより安全に、より公平に、そしてより魅力的な舞台で競技に臨める環境づくりを推進してまいります。

2027年から始まる新しい全日本カート選手権に、ぜひご期待ください。

■代表 松浦佑亮 コメント

「この度、2027年シーズンからの全日本カート選手権およびジュニアカート選手権における所轄団体として選出いただきましたことを、大変光栄に思うと同時に、その重責に身が引き締まる思いです。

GPRはこれまで、国内カートレースの環境整備や参加者の裾野拡大に挑んでまいりました。日本のモータースポーツの礎であるカート競技の頂点を預かる立場として、選手・チームの皆様がより挑戦しやすく、世界へと羽ばたける環境づくりに全身全霊で取り組んでまいります。日本のカート界の新たな未来を、関係者の皆様と共に切り拓いていく所存です。」